

テーマ：

移民コミュニティへの経済危機の影響ーコミュニティの変容、再編、崩壊？ー
Impacts of the Economic Recession on Migrant Communities in Japan: Change,
Restructuring or Breakdown of the Community?

(1) 趣旨説明 Introduction：

池上重弘 Shigehiro Ikegami (静岡文化芸術大学)

リーマンショック以降の世界的な経済危機と景気後退に伴う雇用環境激変のなか、日本における移民コミュニティはどのように変化したのかを検証する。緊急的な施策展開の段階を過ぎ、中長期的視野を持つ政策展開が求められるいま、それらの施策・支援を考える上での前提として、多様なコミュニティの変容、再編、あるいは崩壊の諸相を実証的に明らかにしたい。

ここでいうコミュニティとは、必ずしも地理的近接や集住を前提としない。むしろ行政単位（市レベル）を超えて広がるようなネットワークも積極的に視野に入れたい。また、地域の自治会と外国人との接点という意味での地域コミュニティの課題にとどまらず、移民コミュニティそのものの変化にも着目したい。世界経済危機の影響を受けて従来とは異なる形態に変化しながら、今後も日本において定住化が進むと考えられるブラジル人、フィリピン人、中国人のコミュニティ、そしていわゆる「高度人材」の例としてインド人のコミュニティを比較検討する。

具体的な論点としては、以下の4点を考えている。(1)就労を中心とする経済的局面、(2)子どもの教育をはじめとする家族の問題、(3)ホスト社会との関係、(4)母国を含む国内外の同胞との関係。